

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護・看護記録が日課の流れの記録になっている部分が多かった。記録の見直し。	本人の姿を把握する。	介護・看護記録に気づきや状態変化・会話の内容を重視した記録をする事により、ご本人の思いや意向の把握につながる生活援助計画書にする。	6ヶ月
2		状態の変化に応じ、スタッフ間で統一したケアを提供できていない。	心身の状態の変化を、スタッフ会議や申し送り申し送りノートを活用し、スタッフ間で共有する。	担当と共に気づきや思いが活かされた生活援助計画書作りをしスタッフ全員が同じ質のケアを提供する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。